

Title	16 $\beta$ -Hydroxyandrosterone : Androsterone Sulfateの雌性ラット胆汁中代謝物
Sub Title	
Author	松井, 道夫(Matsui, Michio) 箱崎, 美砂子( Hakozaiki, Misako)
Publisher	共立薬科大学
Publication year	1978
Jtitle	共立薬科大学研究年報 (The annual report of the Kyoritsu College of Pharmacy). No.23 (1978. ) ,p.128- 128
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	学会講演要旨
Genre	Technical Report
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00062898-00000023-0129">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00062898-00000023-0129</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

〔結果・考察〕精製された粘質多糖は、超遠心と電気泳動で単一であり、D-マンノース：D-グルコース（モル比，5：2）で構成され， $\beta$ -1→4結合の主鎖のうち，部分的にマンノースの2および3位が関与する分枝構造であり，末端はマンノースが占める。分子量318000で，5.0%のアセチル基を有し，従来得られた他のLilium-glucomannanよりも，格段に高い水溶性が認められた。

### 16 $\beta$ -Hydroxyandrosterone：Androsterone Sulfateの雌性ラット胆汁中代謝物

松井 道夫，箱崎美砂子

〔日本薬学会 第98年会（1978年4月）で発表〕

〔目的〕16 $\beta$ -Hydroxy-17-oxosteroidは酸，アルカリなどにより容易に安定な17 $\beta$ -Hydroxy-16-oxosteroidに変化することが知られている。演者らは雌性ラットにおける Androsterone sulfate(AnS)の胆汁中代謝物を検索し，Disulfate分画から 3 $\alpha$ ，17 $\beta$ -Dihydroxy-5 $\alpha$ -androstan-16-one (16-one)を同定した。しかし，代謝物の分離精製中に，16 $\beta$ -Hydroxyandrosterone (16 $\beta$ -An)から Artifactとして16-oneに変化した可能性も考えられたので，今回16 $\beta$ -Anの合成をおこない，その安定性を調べ，AnS代謝物中から16 $\beta$ -Anの同定を試みた。

〔実験〕5 $\alpha$ -Androst-16-ene-3 $\alpha$ ，17-diol diacetateをPb(oAc)<sub>4</sub>と反応させて，3 $\alpha$ ，16 $\beta$ -Diacetoxy-5 $\alpha$ -androstan-17-oneとし，これより Semicarbazoneの生成，Acetyl基の加水分解，ついで Semicarbazone基の除去により16 $\beta$ -Anを合成した。次に，胆管カニューレ手術を施した Wistar 系雌性ラットに [<sup>3</sup>H]-AnS (0.45 $\mu$ Ci，8.6 $\mu$ mole)を腹腔内投与し，えられた胆汁中代謝物を Sephadex LH-20カラムにより，Monosulfateおよび Disulfate分画に分離した。Disulfate分画を Solvolysis後，えられた Steroidsを Celite 545カラムにより分離精製後，MO-TMS誘導体として GCおよび GC-MSにより同定した。

〔結果・考察〕前回同定した16-oneの他に，16 $\beta$ -Anを Disulfate分画中から同定した。16 $\beta$ -An Disulfateは，AnSから直接16 $\beta$ -OH体に変換され，ついで16位が硫酸抱合をうけて生成したと考えられる。

### UDP-Glucuronyltransferase：Androsterone 代謝の変動因子

箱崎美砂子，松井 道夫

〔日本薬学会 第98年会（1978年4月）で発表〕

〔目的〕演者らは雌性ラットにおける Androsterone(An)および Testosterone(T)の胆汁中代謝物について研究し，代謝に大きな個体差が存在することを報告した。代謝物の胆汁中排泄の速いラットではAnおよびTは主に An Glucuronideに代謝され，胆汁中排泄の遅いラットではAnおよびその7，11位の水酸化体の Sulfatesに変換された。更に，投与した An Glucuronideは大部分未変化のまま，一方，An Sulfateは水酸化等の変換をうけて胆汁中に排泄された。以上よりこの個体差は UDP-Glucuronyltransferase 活性の変動によると推定される。そこで同系雌性